

2019年3月期 第1四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 商品群別売上高
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) 上期・通期業績見通し
[参考] 商品群別売上高見通し/
為替の影響

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2018年8月1日

Fighting Disease with Electronics



1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2018/3 第1四半期	2019/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	33,353	34,583	3.7
国内売上高	24,887	25,705	3.3
海外売上高	8,465	8,878	4.9
売上総利益 (売上総利益率)	16,191 48.5%	17,095 49.4%	5.6
営業利益 (営業利益率)	△ 219 —	53 0.2%	—
経常利益	158	580	266.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	538	—

為替影響除く: +6%

自社品 2018/3 Q1 2019/3 Q1
売上比率: 62.5% → 64.9%

販管費率: 49.2% → 49.2%

為替差益: 1.0億円 → 3.0億円

平均レート	(2017/6)	(2018/6)
1ドル	111.9円	108.5円
1ユーロ	121.9円	129.5円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 3.7%増

- ・国内：市場別の取り組みを強化した結果、病院市場が堅調に推移。PAD市場におけるAEDの販売も好調。全ての商品群が増収。
- ・海外：米州、欧州、アジア州ともに増収。特に米国、中南米が好調。

営業利益：53百万円（前年同期は219百万円の営業損失）

- ・粗利率は、国内外で自社品の販売に注力した結果、改善。
- ・増収効果と粗利率向上により、研究開発投資等の販管費の増加を吸収し、黒字を確保。

経常利益：前年同期比 266.9%増

- ・為替差益が増加。

3) 商品群別売上高

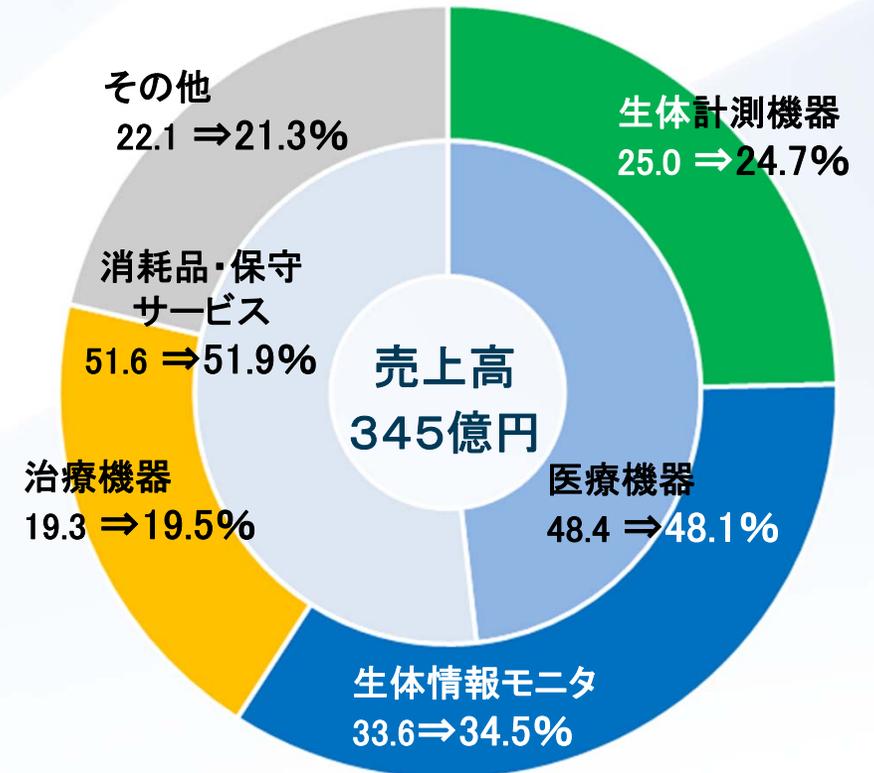
(単位:百万円)

	2018/3 第1四半期	2019/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	8,342	8,535	2.3
生体情報モニタ	11,217	11,920	6.3
治療機器	6,422	6,741	5.0
その他	7,370	7,386	0.2
売上高合計	33,353	34,583	3.7

(ご参考)

消耗品・保守サービス	17,215	17,935	4.2
------------	--------	--------	-----

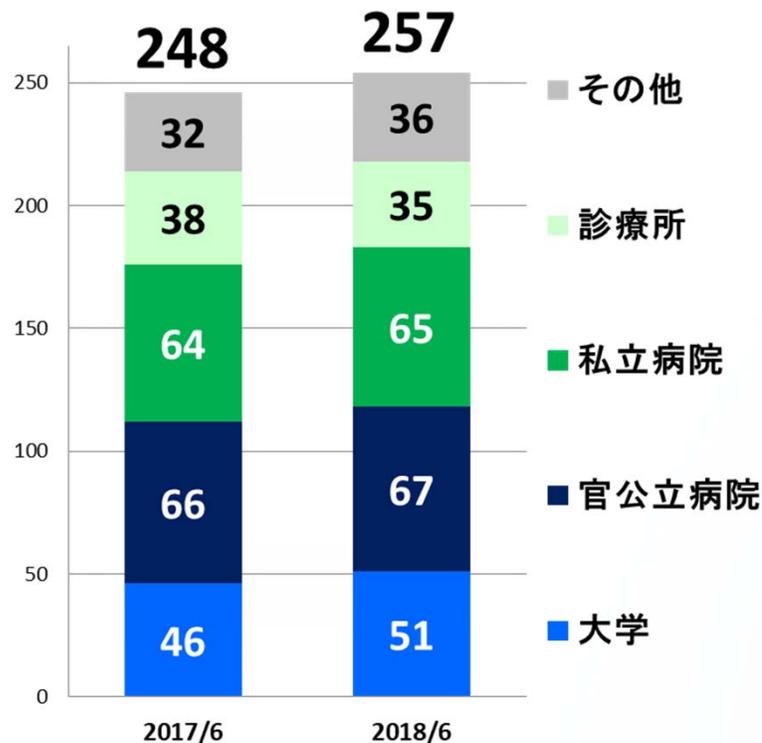
商品群別売上構成比
(2017/6 ⇒ 2018/6)



4) 国内売上高

【市場別売上高】

(億円)



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2018/3 第1四半期	2019/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	6,818	6,850	0.5
生体情報モニタ	6,943	7,337	5.7
治療機器	4,726	4,944	4.6
その他	6,398	6,573	2.7
売上高合計	24,887	25,705	3.3

【市場別】 大学病院市場が好調に推移し、官公立、私立病院市場も堅調。診療所市場は前年同期を下回る。

【商品群別】 生体計測機器： 心電計群が好調に推移し、心臓カテーテル検査装置群も堅調。脳神経系群は前年同期を下回る。

生体情報モニタ： 大学病院市場でベッドサイドモニタや臨床情報システムが好調に推移。

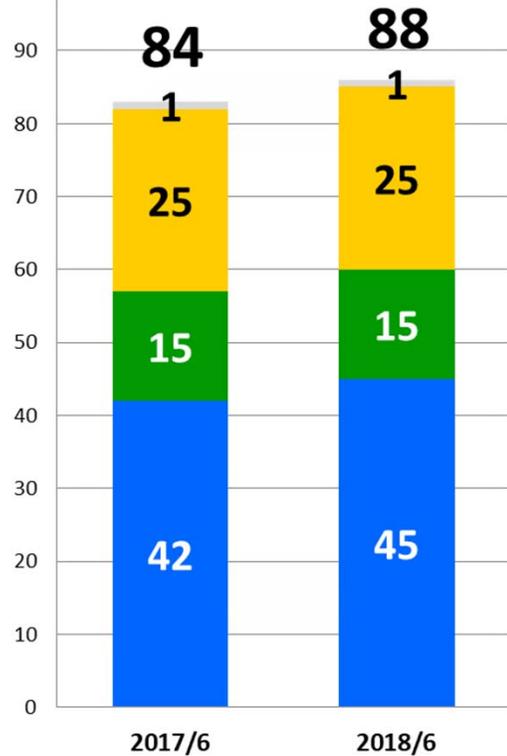
治療機器： AEDが好調に推移。ペースメーカー・ICDも堅調。

その他： 医療機器の設置工事、保守サービスが好調に推移。検体検査装置は前年同期を下回る。

5) 海外売上高

【地域別売上高】

(億円)



- その他：前年同期比 $\Delta 5\%$
(為替影響除く: $\Delta 3\%$)
- アジア州：前年同期比 $+1\%$
(為替影響除く: $+0\%$)
- 欧州：前年同期比 $+5\%$
(為替影響除く: $+0\%$)
- 米州：前年同期比 $+8\%$
(為替影響除く: $+11\%$)

【海外売上高比率】

2018/3 第1四半期	2019/3 第1四半期
25.4%	25.7%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2018/3 第1四半期	2019/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,524	1,685	10.6
生体情報モニタ	4,273	4,582	7.2
治療機器	1,695	1,796	5.9
その他	972	813	$\Delta 16.3$
売上高合計	8,465	8,878	4.9

為替影響除く: $+6\%$

- 【地域別】 米州：米国では、生体情報モニタが好調に推移し、生体計測機器も売上を回復。中南米は、ブラジルを中心に大幅に伸長。
 欧州：ドイツ、スペインが好調に推移した一方、フランス、ロシアは低調。
 アジア州：中国は好調に推移。インドは前年同期に発生した物品サービス税導入に伴う駆け込み需要の反動により減収。
- 【商品群別】 生体計測機器：脳神経系群は米州、アジア州で好調に推移。心電計群はアジア州で堅調に推移するも、米州、欧州で前年同期を下回る。
 生体情報モニタ：米州、欧州で増収。特に米国での売上が大幅に伸長。
 治療機器：除細動器は米州、欧州、アジア州で好調に推移。AEDはアジア州で好調に推移するも、米州、欧州で前年同期を下回る。
 その他：現地仕入品が前年同期を下回る。血球計数器は中南米、欧州で好調に推移するも、アジア州で低調。

6) トピックス

第1四半期の主な新商品

検体検査装置

NEW!

全自動血球計数・ 免疫反応測定装置 MEK-1303

国内: 2018年6月発売
海外: 2018年下期発売予定

- 当社初の一体型
血球計数・CRP※1測定装置
- 採血管のキャップを取らずに測定
でき、血液感染リスクを低減
- CBC※2+CRPの測定時間は
約3分20秒※3とスピーディ
- 再測定が必要な場合、
カラーメッセージでお知らせ



※1 CRP(C-Reactive Protein:C反応性蛋白) ※2 CBC(Complete Blood Count:血算)
※3 オープンモード測定時

保守サービス

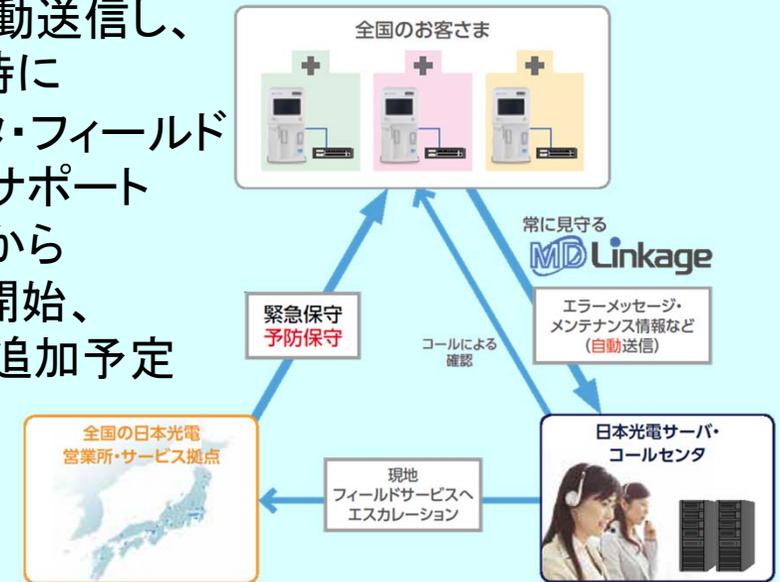
NEW!

医療機器リモート監視システム

MD Linkage

国内: 2018年6月発売

- 機器の稼働情報を
サーバに自動送信し、
異常・故障時に
コールセンター・フィールド
サービスがサポート
- MEK-1303から
サービスを開始、
対応機器を追加予定



7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2018/3 第1四半期	2019/3 第1四半期	増減額	2018/3 実績	2019/3 計画
減 価 償 却 費	770	779	9	3,338	3,900
研 究 開 発 費	1,633	1,856	222	7,226	8,500
				設備投資額	
				3,430	4,000

【2019/3期 設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、基幹システムのサーバ更新

【2019/3期 新商品(予定)】



※ CSM-1500は国内3月、欧州4月発売。
CSM-1700は国内、欧州8月予定。
両機種ともに米国は下期予定。

8) 上期・通期業績見通し

(単位:億円)

	2018/3 実績		2019/3 予想			
	上期	通期	上期	増減率 (%)	通期	増減率 (%)
売上高	766	1,742	800	4.4	1,800	3.3
国内売上高	562	1,281	—	—	1,307	2.0
海外売上高	204	461	—	—	493	6.9
売上総利益 (売上総利益率)	365 47.6%	827 47.5%	—	—	868 48.2%	4.9
営業利益 (営業利益率)	31 4.1%	145 8.3%	31 3.9%	△ 0.9	150 8.3%	3.3
経常利益	37	145	31	△ 16.7	150	3.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	25	91	21	△ 17.4	103	12.5
海外売上高比率	26.6%	26.5%			27.4%	

← 為替影響除く: +11%

【地域別海外売上高】 (単位:百万円)

	2018/3 実績	2019/3 予想	増減率 (%)
米州	22,000	23,400	6.4
欧州	8,462	9,100	7.5
アジア州	13,634	14,100	3.4
その他	2,008	2,700	34.4
海外計	46,105	49,300	6.9

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2018/3 実績	2019/3 予想	構成比(%)	増減率 (%)
生体計測機器	39,323	40,200	22.3	2.2
生体情報モニタ	59,229	62,500	34.7	5.5
治療機器	32,892	33,600	18.7	2.2
その他	42,804	43,700	24.3	2.1
売上高合計	174,249	180,000	100.0	3.3

(ご参考)

消耗品・保守サービス	75,505	78,100	43.4	3.4
------------	--------	--------	------	-----

平均レート

	2018/3 実績	2019/3 予想
米ドル	111.0円	105円
ユロ	130.0円	130円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.0億円	1.1億円
ユロ	0.5億円	0.2億円

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略部

【連絡先】 TEL03-5996-8003